

J-RAPID による 2023 年テュルキエ南東部地震に関する国際連携プロジェクトを開始しました (2023/09/20-21)

テーマ：国際研究連携活動、デジタルアーカイブ、防災教育
会場：中東工科大学 (METU)、アンカラ、テュルキエ

科学技術振興機構 (JST) は、J-RAPID 国際緊急研究共同・調査支援プログラムにおいて、2023 年テュルキエ南東部地震に関する 10 件のプロジェクトを発表しました。当研究所からは、今村文彦教授 (津波工学研究分野) と中東工科大学 (METU) のアフメット・ジェブデット・ヤルシナー教授が代表する「2023 年カフラマンマラシュ地震関連デジタルアーカイブの作成支援と活用」プロジェクトと防災教育に関する 2 件のプロジェクトが採択されました。アーカイブプロジェクトには、サッパシー・アナワット准教授 (津波工学研究分野) および柴山明寛准教授 (災害文化アーカイブ研究分野) も所属、東京大学大学院情報学環・学際情報学府の渡邊英徳教授、防災科学技術研究所の伊勢正主任専門研究員、遊佐暁研究員が参加されています。今村教授とサッパシー准教授はプロジェクト開始後、9 月 20 日と 21 日に初めてテュルキエの中東工科大学を訪問しました。9 月 20 日、両氏は 30 年以上にわたる津波と災害軽減に関する協力について招待講演を行い、9 月 21 日には、土木工学部海岸海洋工学分野でアーカイブ関係の第一回の会議を、教育学部で防災教育関係の担当者との打ち合わせ、さらに国際協力機構 (JICA) トルコ事務所で開催されました。そこでは、災害データの収集、データアーカイブに関する検討事項についても情報と意見交換が行われました。今後は、データ共有、リスク評価に加えて防災教育などの他のプロジェクトへの貢献も検討していきたいと思っております。

さらなる情報: <https://www.jst.go.jp/pr/info/info1635/index.html>



今村教授による基調講演の様子



土木工学部海岸海洋工学分野での
アーカイブに関する会合



教育学部での防災教育に関する打ち合わせ



JICA トルコ事務所での情報・意見交換